

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事

（●印を適用）

1 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

該当する

該当しない

2 別途工事

電気設備工事 . . . 一式

3 現場の状況

設計図のとおり

4 留意事項

(1) 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

(2) 工事中は学校運営と同時使用になるため、仮囲い等を設置し、事故の無い様
十分注意してください。

(3) 児童・職員及び第三者に対する安全確保に努めるとともに、粉塵・騒音及び
振動・ガラ等の飛散に対して十分な配慮を講じてください。


(4) 工事関係車両の駐車場は、学校管理者と協議が必要です。

(5) 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、
「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による
墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具
及びランヤード等）としています。

(6) 冷暖房設備は8月19日までに設置し、運転できる状態とすること。

福山市立神辺小学校他 2 校給食調理場冷暖房設備設置工事

図面リスト					
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
M/1	機械設備工事特記仕様書 No. 1	N. S	M/8	給食調理場制御平面図 (湯田小学校)	1:100
M/2	機械設備工事特記仕様書 No. 2	N. S	M/9	付近見取図、配置図 (道上小学校)	1:600
M/3	付近見取図、配置図 (神辺小学校)	1:600	M/10	給食調理場配管平面図 (道上小学校)	1:100、1:50
M/4	給食調理場配管平面図 (神辺小学校)	1:100、1:50	M/11	給食調理場制御平面図 (道上小学校)	1:100
M/5	給食調理場制御平面図 (神辺小学校)	1:100			
M/6	付近見取図、配置図 (湯田小学校)	1:600			
M/7	給食調理場配管平面図 (湯田小学校)	1:100、1:50			

 福山市教育委員会施設課				
課員	施設担当次長	課長補佐	課長	部長

福山市機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事

2 工事場所 福山市神辺町大字川南291番地11 外2か所

3 用途地域 _____

4 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 指定なし

5 工事種別 ・ 新築 ・ 増築 ・ 改築 改修

6 敷地面積 _____

7 建物概要

1) 構造 _____

2) 面積 建築面積 _____
延べ面積 _____

概要		

3) 附属施設 _____

- 8 消防法令に基づく防火対象物 消防法施行令別表一 (7) 項
- 9 建築基準法施行規則に定める主要用途区分 (小学校)
- ※ 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。
※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。
※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。
- II 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	工 事 種 目
1. 給排水衛生設備工事	2. 空調設備工事
1 衛生器具設備工事	<input checked="" type="radio"/> 1 空調設備工事
2 給水設備工事	2 換気設備工事
<input checked="" type="radio"/> 3 排水設備工事	3 排煙設備工事
4 給湯設備工事	4 自動制御設備工事
5 消火設備工事	
<input checked="" type="radio"/> 6 厨房機器設備工事	
7 ガス設備工事	
8 浄化槽設備工事	

III 設備概要 (○印のついたものを適用する。)

給水方式	・ 直結直圧式 ・ 直結増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
排水方式	<input checked="" type="radio"/> 自然流下 ・ ポンプ排水 (汚物・水・雑排水)
放流先	汚水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 雑排水 ・ 直放流下水管 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途樹
給湯設備	方式 (局所式・中央式) 熱源 (電気・都市ガス・液化石油ガス・灯油・A重油)
衛生	・ 屋内消火栓 ・ 連結給水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 粉末消火 ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連結散水 ・ 消火器
消火設備	フード等簡易自動消火 ・ 二酸化炭素消火 ・ 不活性ガス消火
ガス設備	・ 都市ガス 種別13A (45MJ/N) <input checked="" type="radio"/> 液化石油ガス
浄化槽	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理 (既設)
空調和方式等	<input checked="" type="radio"/> 空調和 (中央ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ・ パッケージ方式) ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式
主要熱源機器	・ 鋼製ボイラー ・ 鉄製ボイラー ・ 温水発生機 ・ チリングユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 遠心冷凍機 ・ スクリュー冷凍機 ・ 吸収冷凍機 ・ 直だし吸収冷凍水機 ・ 小形吸収冷凍水機ユニット ・ コージェネレーション装置 ・ 水蓄熱ユニット
換気設備	・ 1種換気 ・ 2種換気 ・ 3種換気 ・ 全熱交換器
排煙設備	・ 機械排煙 (有リ・無シ) ・ 適用法則 (建築法・消防法)
自動制御設備	・ 自動制御方式 (電気式・電子式・デジタル式) ・ 中央監視制御装置

- IV 機械設備工事仕様**
- 1 共通仕様
- 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準仕様書」という。)、同営繕部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準図」という。)及び公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版による。
- 建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれ公共建築工事標準仕様書(建築工事編)及び公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)による。
- (1)官庁手続き
受注者は各関係官公署への必要な手続きを速やかに完了し、工事完成と同時に建物使用できるよう、一切の手続きを代行する。(水道加入金の納付手続きは除く。関係官公署手続きは監督員の承諾後とする。)
- (2)地元企業及び地場製品の活用
受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用を努める。

- (3)疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。
- 2 特記仕様
- (1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2)特記事項は※および○印のついたものを適用する。
3 引渡し後、次に示す点検を行う。(○印のついたものを適用する。)
- 引渡し後点検(第1次点検) 引渡しの概ね1年後
 - 引渡し後点検(第2次点検) 引渡しの概ね2年後

章 項 目	特 記 事 項
<input checked="" type="radio"/> 1 適用基準等	・ 公共住宅建設工事共通仕様書 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修(令和元年版) <input checked="" type="radio"/> 建築基準法、消防法、その他関係法令 <input checked="" type="radio"/> 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設課・住宅局建築指導課監修 <input checked="" type="radio"/> 建築工事安全施工技術指針 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達
<input checked="" type="radio"/> 2 監理(主任)技術者	受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。
3 電気保安技術者	・ 適用する。 ・ 適用しない
4 技能士	・ 適用する。 ・ 適用しない

5 施工管理

受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。
※施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。)
技術者台帳(施工体制台帳に添付)
監理技術者・主任技術者(下請を含む)及び専門技術者の写真、名前、生年月日、所属会社名を記載する。
※施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。)
工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
指定以外の機材を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
また、(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。(標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。)

形状、寸法等が設計者と異なる場合は他に支障を生じない限り監督員と協議の上処理する。
工事に使用する機材および材料は、アスベストを含有しないものとする。

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。)により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放出による健康への影響に配慮する。

- 引渡しを要するもの ()
- 現場において再利用を図るもの ()

※ 再資源化を図るもの
・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材
・ コンクリート及び鉄からなる建設資材

※上記以外のものはすべて横外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)、 「資源の有効な利用の促進に関する法律(以下、「資源有効利用促進法」という。)、 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下、「廃棄物処理法」という。)」その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。

※ 建設副産物情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。

6 発生材の処理

分類	規格	撮影枚数	提出部数
着手前	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1
工事中	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1
完成時	L版程度(カラー)	各室4面 外壁4面	1

7 工事及び完成写真

建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第2版)-建築設備編」によるほか特記がない場合は、以下による。

分類	規格	撮影枚数	提出部数
着手前	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1
工事中	L版程度(カラー)	必要に応じた数	1
完成時	L版程度(カラー)	各室4面 外壁4面	1

8 完成時の提出図書

竣工図(・A3版2つ折りにして製本) 部

- 完成図
- 施工図
- 保安に関する資料(設備機器類及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書等)
- 竣工図電子データ(施工図含む)一式(「竣工図電子データ作成要領」による。)
- CADデータ(媒体(CD-Rなど)、データ形式等は監督員の指示による)

施工範囲 「工事区分表」による。
※契約書に基づく関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。

9 関連工事等の調整等

建築工事等に伴う足場及び安全囲いは、無償にて使用できる。
・ 本工事で設置する。
・ 内部足場 (・ 単管足場 ・ 枠組足場)
・ 外部足場 (・ 枠組足場 ・ 単管足場)

※枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドラインによるものとし、足場の組立、解体変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・ 同一場所で契約書に基づく関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。
・ 本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会写真の撮影を行い、監督員に提出する。
※受注者は、次に従い、工事実績情報システム(CORINS)へ登録する。
登録内容について、あらかじめ監督員の確認を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

変更登録は、工期、技術者に変更が生じた場合に行う(請負代金のみ変更の場合、登録不要)
※登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。
なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)
本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。
本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。
運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)」及び「情報共有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。

・ 発注者指定型
共通設備として情報共有システムの利用を見込んでいる。
受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事者手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。
・ 受注者希望型(契約時の請負金額が500万円以上のものに限る)
工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。
本システムの利用を希望する受注者は、工事者手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。
その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通設備費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。
下記項目の測定を行ない監督員に提出する(部)

- 温度 ・ 湿度 ・ 風量 騒音 ・ 振動 ・ 気流 ・ 塵埃
- 飲料水(雑用水)の水質 ・ 浄化槽の放流水質 ・ 化学物質の濃度

測定箇所等は、監督員の指示による。
監督員と協議の上、設備機器類(ボイラー、冷凍機、ポンプ、空調和機等)及び一連の装置等の取扱い要領を記載した説明書を作成し、指示する箇所に取付ける。
特記なき場合は、EM電線・ケーブルとする。
標準仕様書によるほか下記による。

- ・ 運転ブロック図に適合するものとする。
- ・ ボイラー及び冷水水機等の附属機の始動スイッチ二次側に煤煙濃度計用の電源端子を設ける。接続及び端子は、標準仕様書等 ※ 適用する ・ 機器表特記による

インバーター用の制御及び操作盤は標準仕様書等 ※ 適用する ・ 機器表特記による

- ・ 合成ゴム製 (球形) ・ ベローズ形

標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。(舗装部分は、鉄製 ・ コンクリート製)
排水管を除く地中配管には、土被り150mm程度の深さに埋設表示用テープを埋設する。
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
・ 放射線透過検査等 ・ 必要 ・ 不要

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならない補修する。
ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS304) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製 (SUS304) 又は溶融亜鉛めっき仕上げとする。
設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(平成8年版・建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版・一般財団法人日本建築センター発行)による。耐震クラスは()とする。
標準仕様書によるが、特記のないかぎり下記を標準とする。

- イ) ポリスチレンフォーム-給水管配管、排水配管の多湿場所
- ロ) グラスウール -----給水管配管、給湯配管、ダクト類、冷水水管等
- ハ) ロックウール -----排気ダクト、排煙ダクト

ベトロラム系防湿テープ (1/2重ね、1回巻き) +プラスチックテープ (1/2重ね、1回巻き)
プチルゴム系絶縁テープ (1/2重ね、2回巻)

26 鋼管類の地中埋設
耐火用ポリ塩化ビニル粘着テープ (JIS Z 19010 0.4m/n) 1/2重ね、2回巻

27 鋼管類の地中埋設
防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ (JIS Z 19010 0.4m/n) 1/2重ね、2回巻 (コンクリート内等)

28 塗装
標準仕様書及び図示による。

29 スリーブ
外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とし、地中部分で水密を要しない部分のスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) とする。
(柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製板状としてもよい。)
図面に記載されている数値以上とする。

30 機器性能
" 以下とする。

32 防火区画の貫通処理
防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。

33 浴槽配管の検査
・ ガス配管 ・ 高気配管 ・ 冷水水管配管 ・ 冷却水管配管 ・ 油管
非破壊検査の適用 ※ 無し
・ 有リ (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査または磁粉探傷検査)
判定基準 ()
抜取率は ・ 標準仕様書による

- 11 足場
- 12 施工中の安全確保
- 13 工事実績情報システム (CORINS)への登録
- 14 情報共有システム
- 15 測定表
- 16 説明板
- 17 電線類
- 18 機器附属の制御盤
- 19 防振継手
- 20 埋設表示
- 21 はつり工事
- 22 補修など
- 23 支持金物・固定金具
- 24 耐震施工
- 25 保温材
- 26 鋼管類の地中埋設
- 27 鋼管類の地中埋設
- 28 塗装
- 29 スリーブ
- 30 機器性能
- 31 電気容量
- 32 防火区画の貫通処理
- 33 浴槽配管の検査

34 化学物質の測定

35 施工調査

36 その他

仮設工事

衛生器具

器具

給水管

排水

設備

備

1 衛生陶器附属品
・ 和風便器は埋込型とし、コンクリート接触面は緩衝材塗装加工とする。
・ 図示陶器品番 JIS記号 ・ 図示陶器品番 TOTO記号 (同等品以上)

2 大便器
・ フラッシュバルブ ・ ロータンク

3 小便器
・ フラッシュバルブ ・ 自動洗浄 (個別・集電) ・

4 大便器洗浄弁
・ バキュームブレーカー付

5 洗浄用タンク
・ 陶器製 ・ 防露形陶器製 ・ 合成樹脂製 ・ 防露形合成樹脂製

6 便座
・ 普通便座 (・ 蓋有リ ・ 蓋無シ) ・ 温水洗浄便座 ・ 暖房便座

7 化粧箱
・ 陶器製 ・ 金属製

8 化粧鏡
・ 一般鏡 ・ 耐食鏡 ・ 盗難防止形

9 和風便器耐火カバー
・ 設ける (ピットを除く) ・ 設けない

10 手洗器
止水栓付

11 洗面器
止水栓付

12 紙巻器
機工時ペーパーを設置する。
(・ ワンタッチ式 ・ ワンハンドカット式)

13 水栓
・ 台所流し用水栓は、泡沫式とする。

14 水セッケン入れ (水セッケン具)
・ 陶器形 ・ 壁付形

15 セッケン受け
・ 埋込形 ・ 壁付形

(屋 内)

1 給水方式

2 管
・ 直結直圧式 ・ 直結増圧式 ・ 高置水槽式 ・ 受水槽方式
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (・ HIVP ・ VP)
・ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, JIS K 6787)
・ ポリブテン管 (JIS K 6778, JIS K 6792)
・ ポリエチレン管 (JIS K 6762, JWWA K 144)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304

3 弁
・ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・ JIS 5K (高置水槽以外の配管に使用)
・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製円筒形
・ ベローズ形単式 ・ ベローズ形複式

4 フレキシブルジョイント
・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製

5 伸縮管継手
・ 鋼板製 (パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接 ・ ボルト)
・ FRP製 (サンドイッチ構造) ・ FRP製

6 高置水槽
・ 鋼板製 (パネル形 ・ 一体形) ・ ステンレス製パネル (・ 溶接 ・ ボルト)

7 受水槽
・ エポキシ樹脂コーティング ・ 垂溶アルミニウム及びその合金溶射

8 鋼板製水槽の防錆
・ 標準 型 ・ 防振 型

9 漏水及び圧給水ポンプ
・ φ × /min × m × kW × 台

10 ポンプ基礎
・ 標準 型 ・ 防振 型

(屋 外)

11 管
・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VB
・ 内外面水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (JWWA K 116) SGP-VD
・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (・ HIVP ・ VP) (原示50A未満)
・ ポリエチレン管 (JIS K 6762, JWWA K 144) (原示50A未満)
・ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769, JIS K 6787)
・ ポリブテン管 (JIS K 6778, JIS K 6792)
・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304

12 弁
・ JIS 10K (市水道に直結する配管に使用)
・ JIS 5K (高架水槽以外の配管に使用)

13 弁辨
・ 市規格品 ・ VCF形 ・ 市販品

14 量水器
・ 買入 ・ 借用

15 量水器
・ 水圧規格形形 ・ MC形

16 埋設深さ
・ 300mm以上(車両道路以外) ・ 600mm以上(車両道路) ・ 凍結深度(400mm)以上

17 建物導入部配管
・ 標準図による。
・ 変位を吸収できるようにスリクションとする。

18 隔測メーター
・ リモート型 ・ 流量計 台

19 その他
鋼管の接合は管端コア付継手等を使用する。
給水管の最小管径は、原則として呼び径20とする。
水圧試験は配管途中、隠ぺい埋戻し前又は配管完了後の被覆直前に、監督員立会いの上、規定の水圧試験を行う。
・ 配管工事に管内に異物の混入なきよう充分に注意し、工事完成前に監督員立会いの上、水質検査をして結果を報告する。
・ 飲料水以外の給水管は、誤接続がないことを確認するため衛生器具等の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験等を行う。

福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事

機械設備工事特記仕様書 No.1

2025年1月

福山市教育委員会施設課

排水設備	① 管 (第1棟まで)	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 排水用鉛管 (SHASE-S203) ・ コーティング鋼管 ・ 結露防止層付塩化ビニル管 ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP
	2 通気管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) VP (露出部 カラーVP) ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管
	3 満水試験継手	3階以上にあたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。
	4 ビット内配管保温	・ 施工する ・ 施工しない
	⑤ 方式 (屋外)	○ 自然排水 ○ ポンプ排水
	⑥ 管	○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741) (○ VP ※ VU)
	7 インバート樹	・ SA, AB形 ・ SC形 ・ 小口径
	8 インバート樹用蓋	・ 塩ビ製 ・ 鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット)
	9 排水樹	・ RA, RB形 ・ SC形 ・ 小口径
	10 排水樹用蓋	・ 塩ビ製 ・ 鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット) ・ グレーチング ・ 鉄板製 φ 6m/m
	11 埋設深さ	・ 300m/m以上 (車両道路以外) ・ 600m/m以上 (車両道路) ・ 勾配図による。
	12 その他	・ 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・ 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上満水試験を行う。

給湯設備	1 方式	・ 単管式 ・ 復管式
	2 管	・ 鋼管 (JIS H 3300) (・ Mタイプ ・ Lタイプ) ・ 被覆鋼管 (呼び径20までとする) ・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 保温付被覆鋼管 (JIS H 3300の外面に断熱材 (14mm以上) で被覆したもの) ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304 ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ポリブテン管
	3 弁	・ JIS 10K ・ JIS 5K
	4 熱源	・ ボイラー () ・ 給湯器、湯沸器 () ・ 電気温水器 () ・ ヒートポンプ式給湯器 ()
	5 膨張水槽	・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 ()
	6 その他	・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温工事前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。

消火設備	1 管	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (第2種亜鉛メッキ製品) (JIS G 3454) STPG ・ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) SGP ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (WSP 041) SGP-VS ※ 消火用配管は、消防法令に適合するものとする。
	2 弁	・ JIS 10K
	3 消火栓箱	・ 総合形 (・ HB-1A ・ HB-1B) ・ 単独形 (・ HB-2A ・ HB-2B) ・ 総合形 (・ HB-4A ・ HB-4B) ・ 消火器併設形 (・ HB-1AS ・ HB-1BS)
	4 水源用水槽	・ ステンレス製 () ・ 鋼板製 ()
	5 消火ポンプユニット	・ 認定型 φ x /min x m kW x 台
	6 ポンプ基礎	・ 標準型 ・ 防振型
	7 消火器	・ () 型 () 本 ・ 収納箱共 ・ 置台共 ・ 壁掛フック共
	8 保温	イ) 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ) 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ) 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連結放水用 ・ 施工しない ・ 施工する
	9 その他	水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。

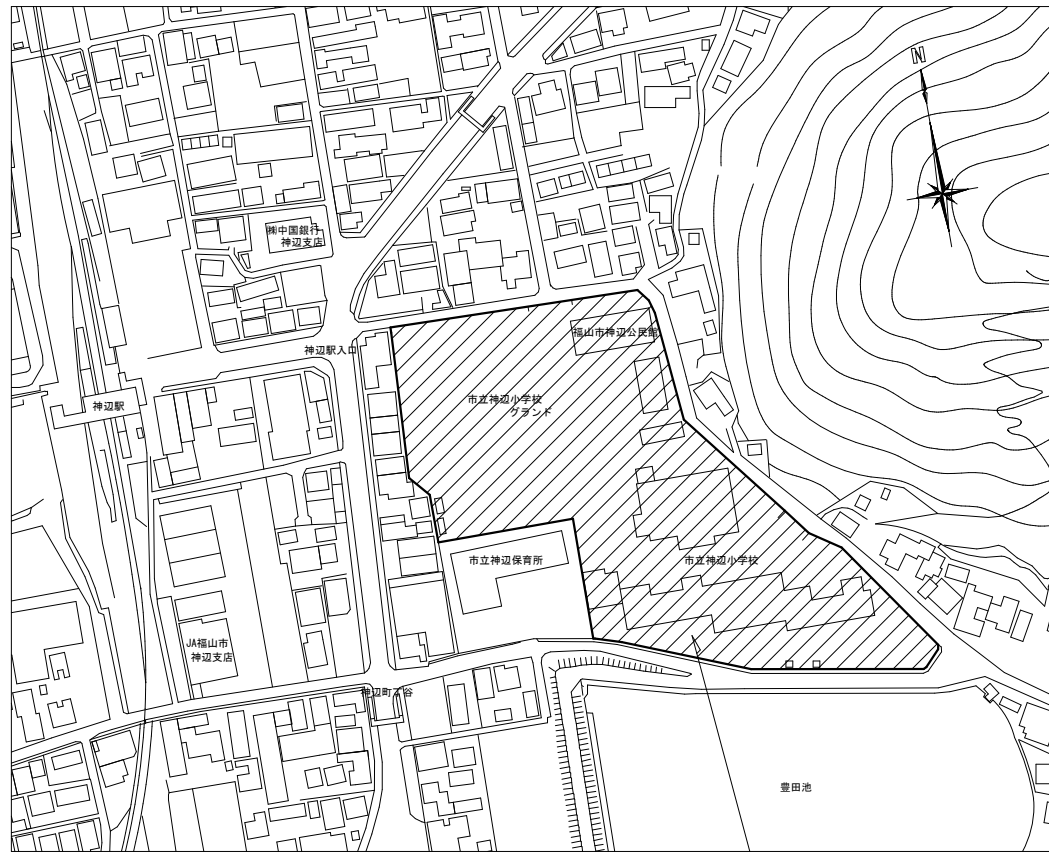
浄化槽設備 (撤去)	1 処理種別	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 3基撤去 200人槽・50人槽・15人槽 ・ 放流水質 (・ BOD mg/以下 ・ COD mg/以下 ・ T-N mg/以下 ・ TP mg/以下)
	2 構造	・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ・ その他 ()
	3 形式・容量	・ ユニット型 () 型 人槽 /日) ・ 現場施工型 () 人槽 /日)
	4 排水方式	・ 自然排水 ・ ポンプ排水 ()
	5 マンホール	・ MHA型 ・ MHB型 ・ 製造者の規格品
	6 その他	工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。

ガス設備	① 種別	・ 都市ガス ○ 液化石油ガス
	② 管	○ 配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3452) (白管) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (JIS G 3454) (黒管) ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ○ ポリエチレン被覆鋼管 (JIS G 3469) ・ 塩化ビニル被覆鋼管
	③ 継手	○ 鋼管継手 (亜鉛メッキ) ○ PLS継手同等品以上 ・ 溶接継手
	4 プロパンガス集合装置	・ () kg x () 本立 ・ 無 ・ バルク貯槽 () kg ・ 整型 ・ 横型
	5 機器等	・ 別図による
	6 遮断装置等	・ 遮断弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 ・ 配線接続は (・ 本工事 ・ 別途工事) とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。
	7 その他	・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻し前又は、配管完了後監督員立会の上試験を行う。

空調設備	1 設計条件	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">条件</th> <th colspan="2">屋外</th> <th colspan="2">屋内</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>35.0 °C</td> <td>67.1 %</td> <td>28.0 °C</td> <td>50.0 %</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>0.1 °C</td> <td>71.5 %</td> <td>19.0 °C</td> <td>40.0 %</td> </tr> </table> <p>※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。</p>	条件	屋外		屋内		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %
	条件	屋外		屋内																	
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																
	夏季	35.0 °C	67.1 %	28.0 °C	50.0 %																
	冬季	0.1 °C	71.5 %	19.0 °C	40.0 %																
	2 冷水・温水・冷却水	・ 水道用亜鉛メッキ鋼管 (JIS G 3442) SGPW ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) (JIS G 3452) SGP 膨張・補給水管 ・ 一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448) SUS304																			
	③ 蒸気・油管及び冷媒管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP ○ 断熱材被覆鋼管 (JCDA0009)																			
	4 ブライン管	・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (JIS G 3452) SGP																			
	⑤ 給水及び排水管	給、排水設備の項による。																			
	⑥ ファンコイルユニット及びパッケージエアコン	・ 床置形 ○ 天井形 (○ 露出 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)																			
	7 フレキシブルジョイント	・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製																			
	8 吹出口・吸込口	・ 枠及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ・ アルミニウム製																			
	9 防煙・防火ダンパー	・ 防煙ダンパー (SD) ・ 防火ダンパー (FD) ・ 防煙防火ダンパー (SFD) ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復帰機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式																			
10 風道	・ グラスウールダクト (円形ダクト) (注 : 火気使用室、多湿箇所は使用不可) ・ 亜鉛鉄板製 (空調、換気、排煙) ・ 鋼板製 (排煙) (※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト) 長方形ダクトは ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法)																				
11 冷水水管の空気抜	消音材を内貼りした風道、チャンパーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。																				
⑫ その他	試験は、配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法) の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ○ 空気調和機等又はフィルターチャンパーの装着枚数の (100) % を予備品 (特付) として納める。																				
⑬ 予備品等																					

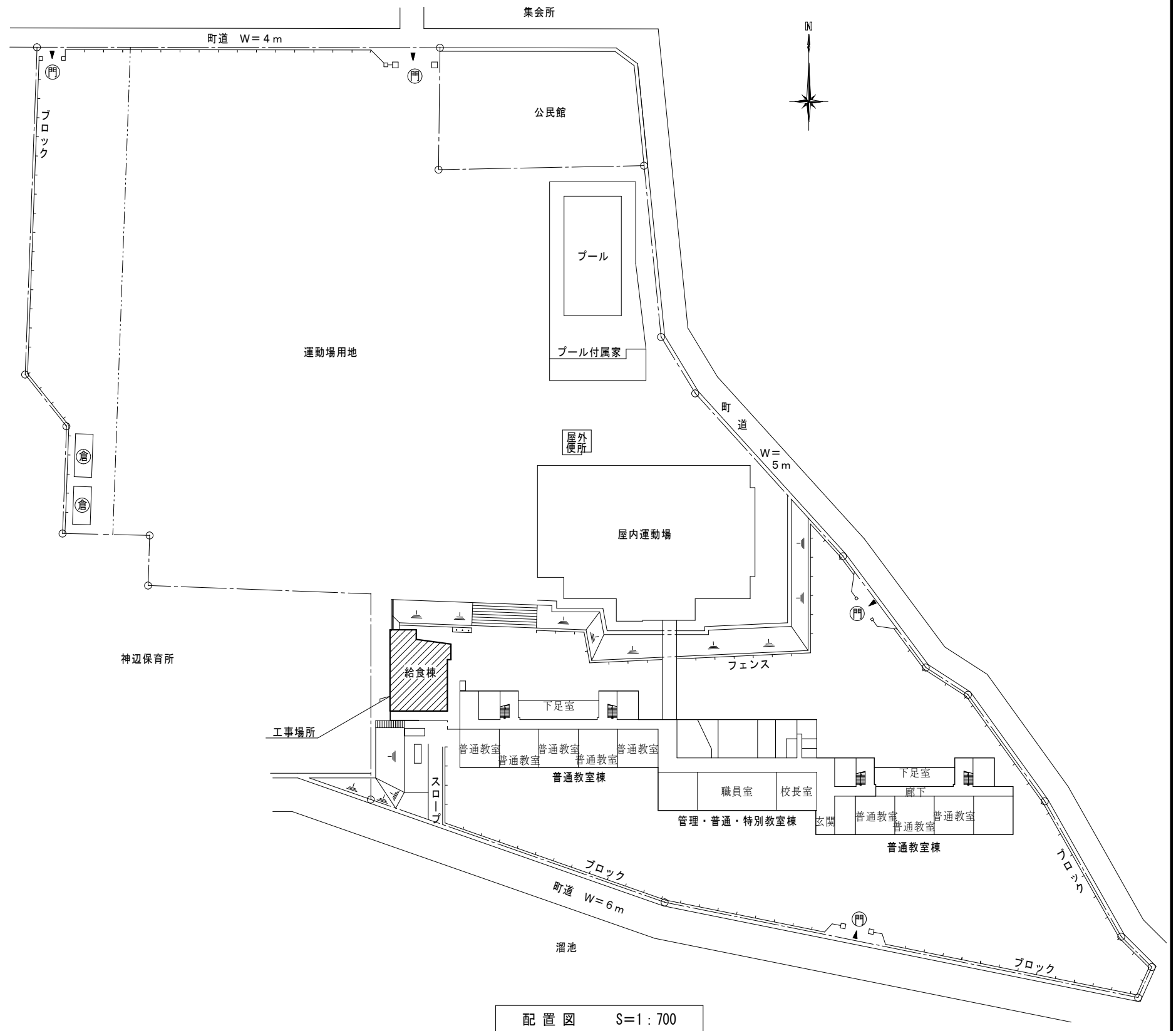
換気設備	1 ダクト	低圧ダクト (・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法 (・ 共板 ・ スライド) ・ アングル工法) とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一層手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。
	2 風量測定口	取付位置は (・ 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト) とする。
	3 ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
	4 排気ダクトのシール	・ 浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統
	5 チャンパー	空気調和設備の当該項目による。
	6 保温	下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用のダクト (保温の厚さ25mm、範囲は図示による。) ・ (・ 厨房・湯沸室) のダクト (仕様はh・(イ)・ⅴとし範囲は図示による。) ・ OAダクト 機器から外壁の間 (保温の厚さ25mm) ・ EAダクト 外壁より1m (保温の厚さ25mm)

自動制御設備	1 中央監視制御装置	・ 有り (構成機能図は図示による) ・ 無し
	2 電源装置	・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要
	3 計装工事の記録	屋外、屋内露出の記録は、図面に特記のない限り金属管記録とする。



付近見取図

工事場所



配置図 S=1:700

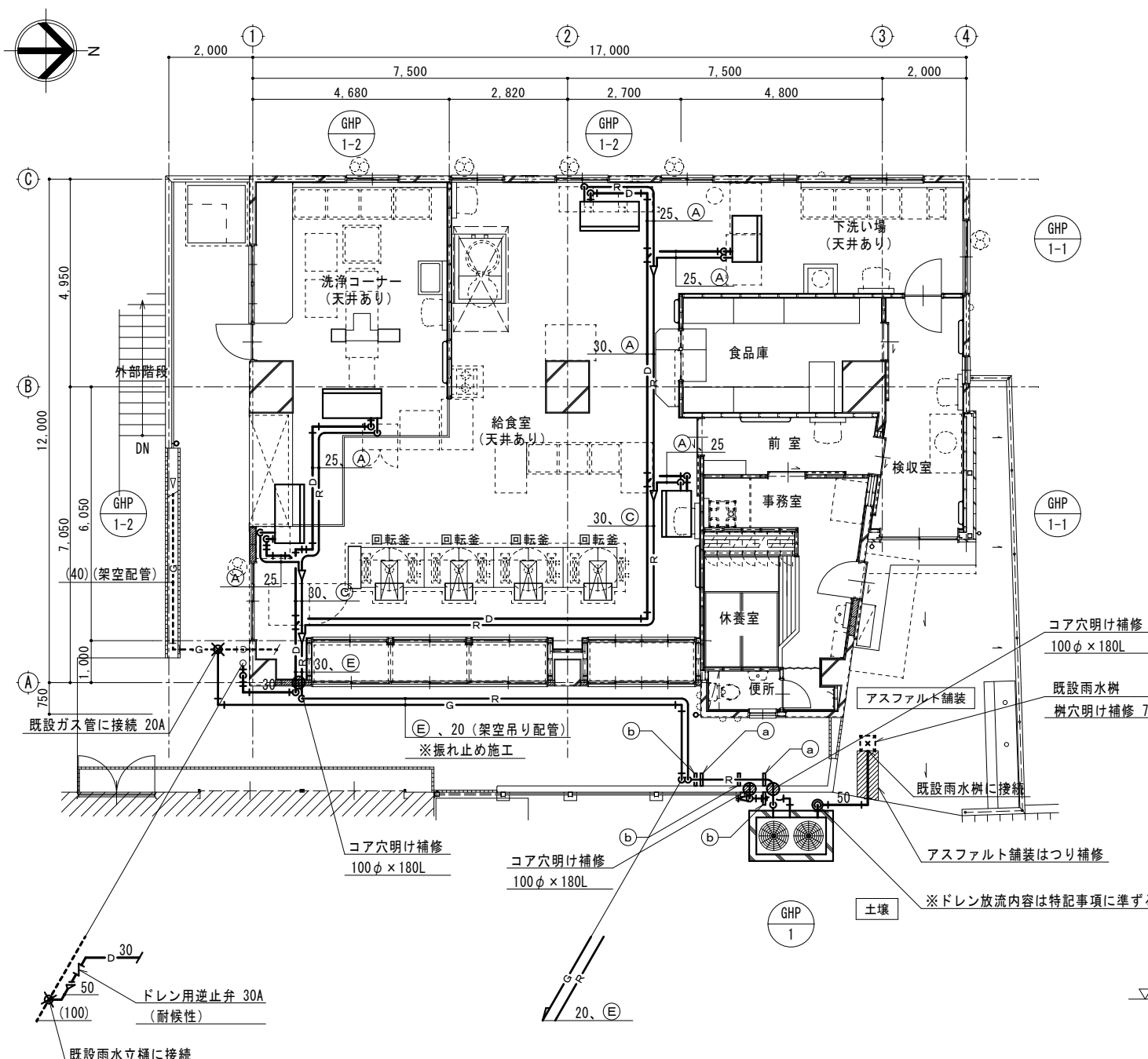
凡例		
記号	名称	摘要
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管 (製造者標準品)
—D—	ドレン管	一般配管: 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 露出配管: カラーVP
—G—	ガス管	配管用炭素鋼管 (白)
---(**)---	既設管	

【特記事項】

- 冷媒管保温材厚さは、液管: 10 mm、ガス管: 20 mmとする。
- 屋内外機間の連絡線は本工事とする。
- 一次電源、アース及び接地工事は別途工事とする。
- リモコンの配管配線工事は本工事とする。
- 屋外、屋内の露出配管はSUSラッキングとする。
- 屋内機のドレン管はドレン用逆止弁 (耐候性) 取付後、竖樋に間接続とする
但し、竖樋の無い箇所は 雨水樹に接続とする。
- 屋外機のドレン管は雨水樹に接続とする。(接続方法は、メーカー施工要領による。)
凝縮水ドレン、排気ドレンの分流、通気の確保等

2025年 1月	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会					
施設課					

工事名称	福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	日付	2025年 1月	I. 設備企画	図面番号 M / 3
図面名称	付近見取図、配置図 (神辺小学校)	縮尺	1:700		
			〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877		



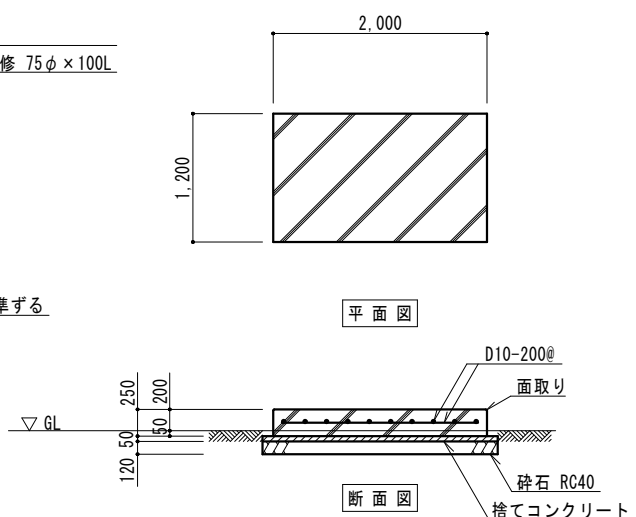
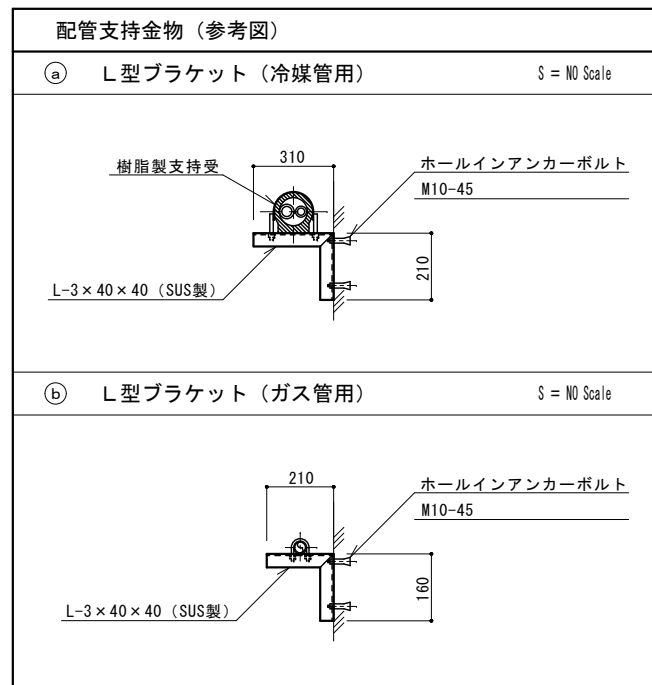
平面図 S=1:100

冷媒管リスト (参考)

記号	液管	ガス管
A	φ 9.5	φ 15.9
B	φ 9.5	φ 19.1
C	φ 9.5	φ 22.2
D	φ 12.7	φ 28.6
E	φ 15.9	φ 28.6

GHP-1 器具リスト

ガスコック	20A	1
強化ガスホース	20A	1



基礎コンクリート

強度	24 N/m ³
スランブ	15 cm
骨材	20 mm

空調機器表

記号	名称	仕様	電気容量	数量	設置場所	備考
GHP-1	ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋外機)	形式 ヒートポンプ式 冷房能力 56.0 kW 暖房能力 63.0 kW ガス種別 LPG ガス消費量 冷房: 49.4 kW 暖房: 44.6 kW 付属品 防振ゴムパット、冷媒分配器 防護ネット	電源 3φ 200V 送風機 0.36 kW +0.42 kW	1	屋外	参考型番 GXUAP560G
GHP-1-1	ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋内機)	形式 天井吊形 (厨房用) 冷房能力 8.0 kW 暖房能力 9.0 kW 付属品 防振吊金具 振れ止め支持金具 予備フィルター (100%)	電源 1φ 200V 送風機 0.06 kW	2	調理室 (1台) 下処理室 (1台)	参考型番 FGXTP80NB
GHP-1-2	ガスエンジンヒートポンプ式空調機 (屋内機)	形式 天井吊形 (厨房用) 冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW 付属品 防振吊金具 振れ止め支持金具 予備フィルター (100%)	電源 1φ 200V 送風機 0.13 kW	3	調理室 (2台) 洗浄コーナー (1台)	参考型番 FGXTP140NB
	リモコン	メーカー標準品		3	給食室 洗浄コーナー 下洗い場	

2025年 1月	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会					
施設課					

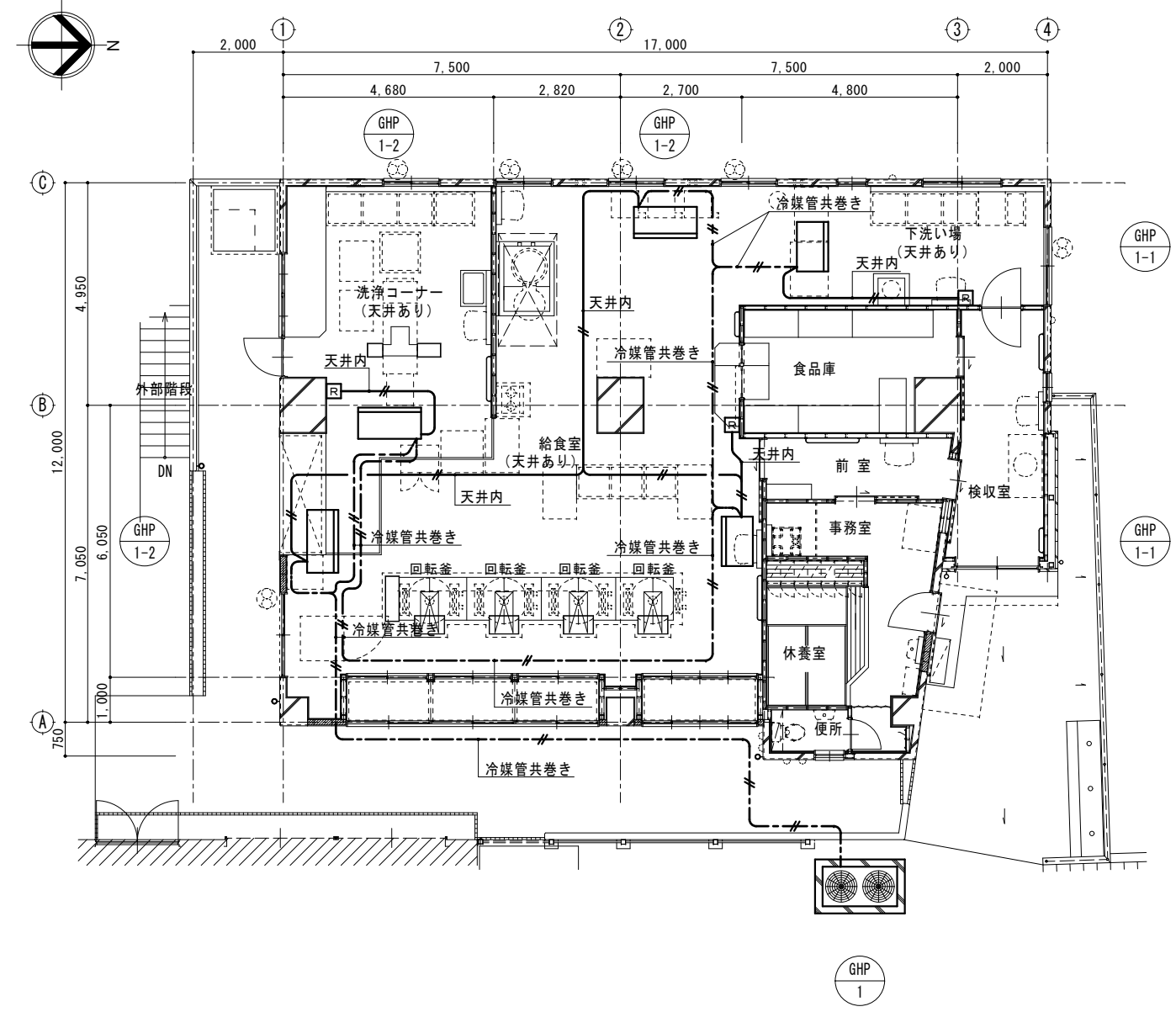
工事名称	福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	日付	2025年 1月
図面名称	給食調理場配管平面図 (神辺小学校)	縮尺	1:100

I. 設備企画

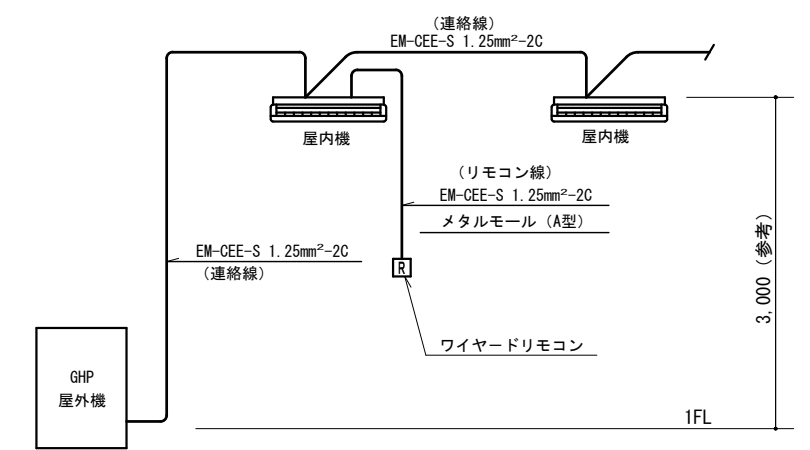
〒721-0952
広島県福山市曙町五丁目2番41号
TEL (084) 981-4877

図面番号 M/4

凡 例		
記 号	摘 要	備 考
---//---	屋内機~屋外機間連絡線	EM-CEE-S 1.25mm ² -2C
---//---	リモコン線	EM-CEE-S 1.25mm ² -2C (E19)
□	ワイヤードリモコン	



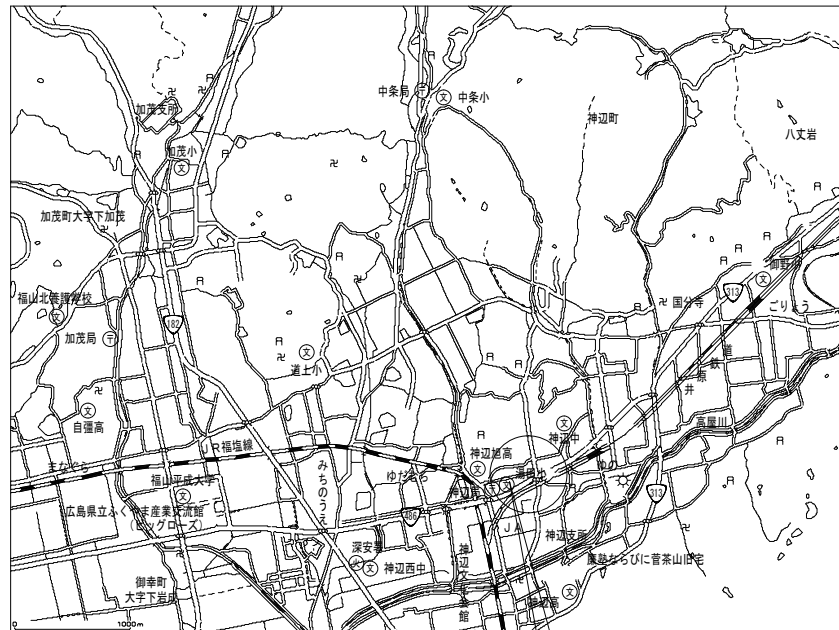
平面図 S=1:100



GHP屋外機~室内機間連絡配線参考図

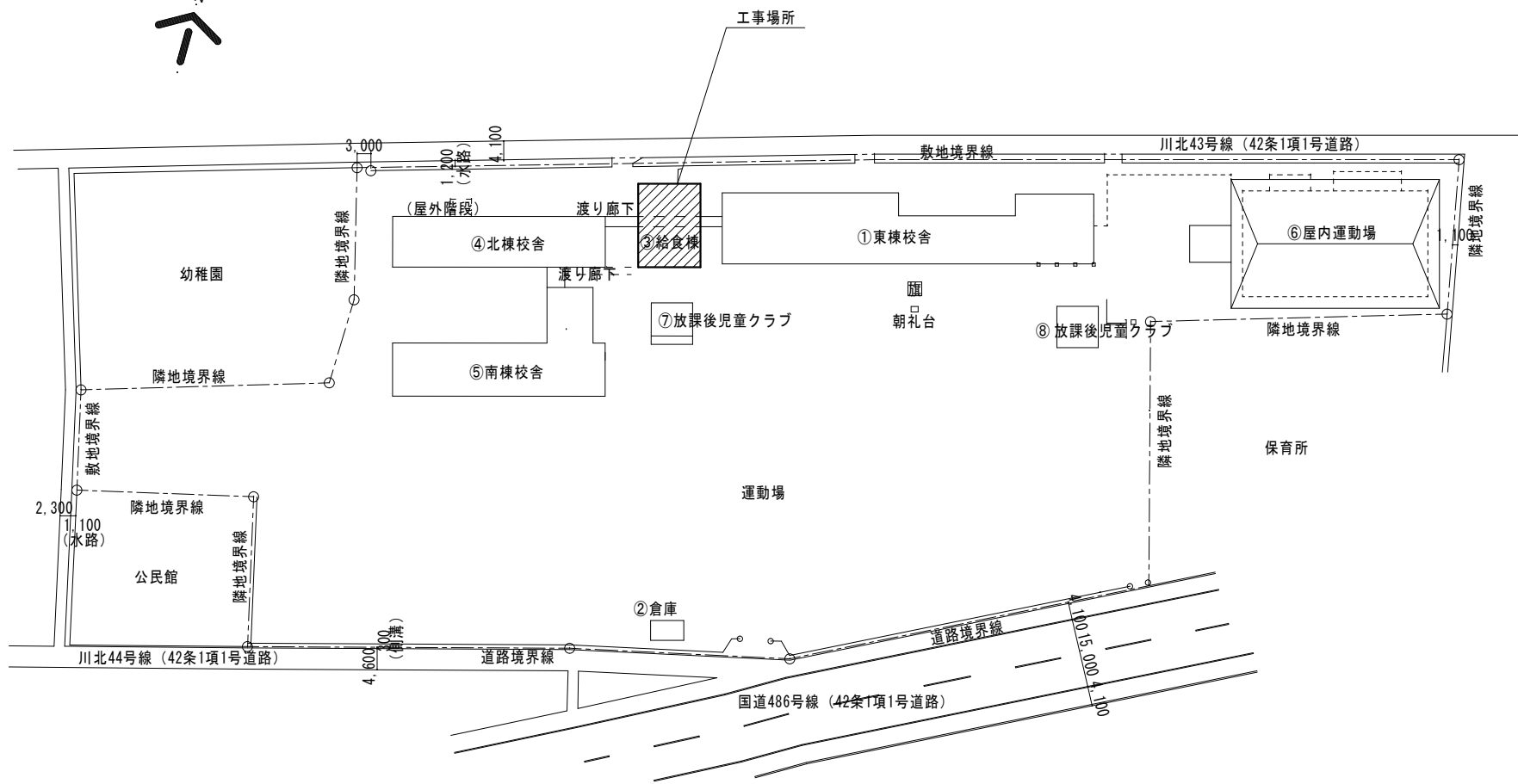
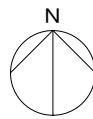
2025年 1月	課 員	次 長	課長補佐	課 長	部 長
福山市教育委員会					
施設課					

工事名称 福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	日付 2025年 1月	I. 設備企画 〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	図面番号 M / 5
図面名称 給食調理場制御平面図 (神辺小学校)	縮尺 1:100		



工事場所：福山市神辺町大字川北1,113番地1
(福山市立湯田小学校)

付近見取図



配置図 S=1:1000

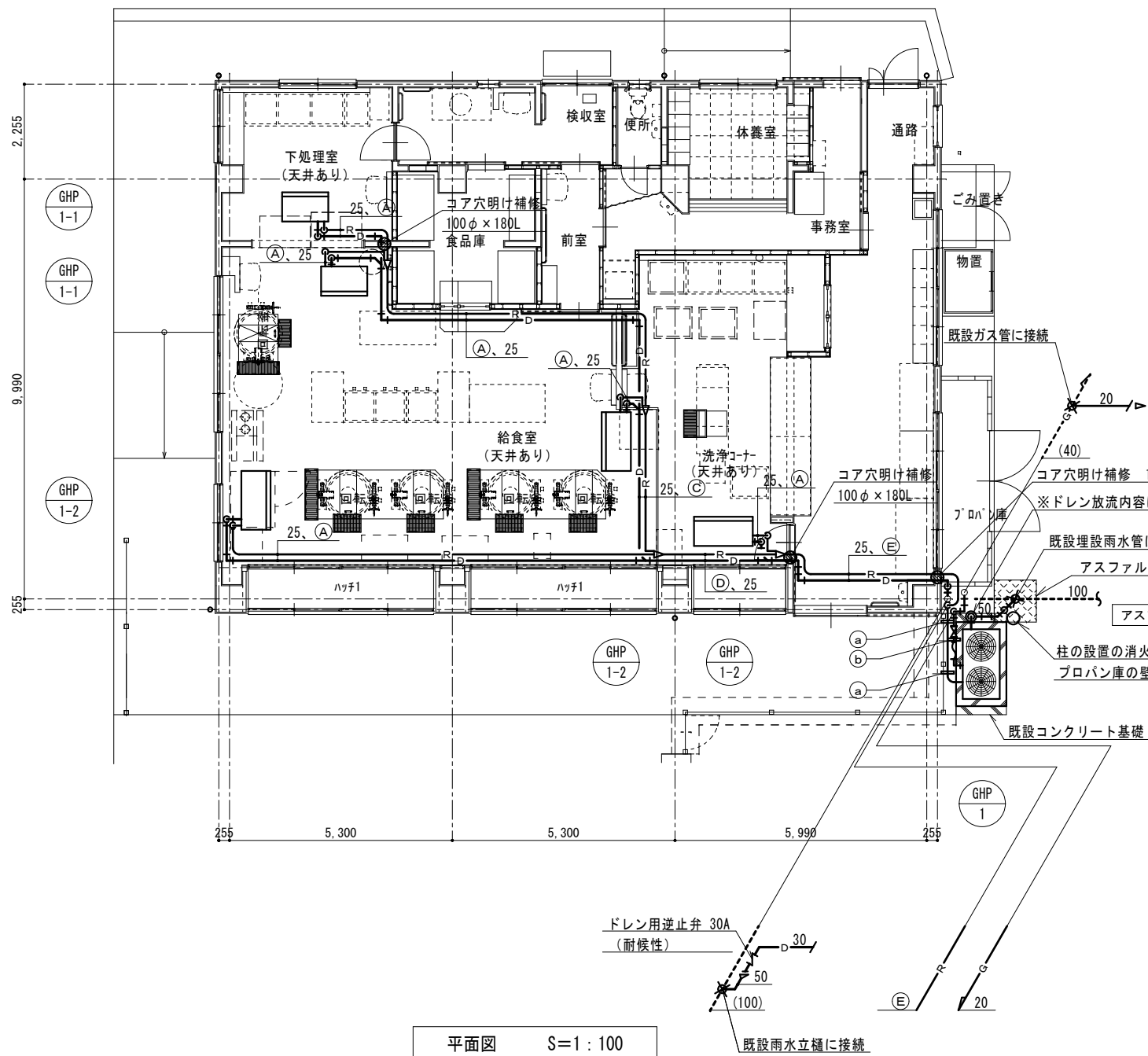
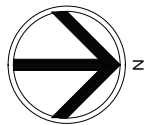
凡例		
記号	名称	摘要
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管 (製造者標準品)
—D—	ドレン管	一般配管：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 露出配管：カラーVP
—G—	ガス管	配管用炭素鋼管 (白)
---(**)---	既設管	

【特記事項】

- 冷媒管保温材厚さは、液管：10 mm、ガス管：20 mmとする。
- 屋内外機間の連絡線は本工事とする。
- 一次電源、アース及び接地工事は別途工事とする。
- リモコンの配管配線工事は本工事とする。
- 屋外、屋内の露出配管はSUSラッキングとする。
- 屋内機のドレン管はドレン用逆止弁 (耐候性) 取付後、壁樋に間接続とする
但し、壁樋の無い箇所は 雨水樹に接続とする。
- 屋外機のドレン管は雨水樹に接続とする。(接続方法は、メーカー施工要領による。)
凝縮水ドレン、排気ドレンの分流、通気の確保等

2025年 1月	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会					
施設課					

工事名称 福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	日付 2025年 1月	I. 設備企画 〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	図面番号 M / 6
図面名称 付近見取図、配置図 (湯田小学校)	縮尺 1:1000		

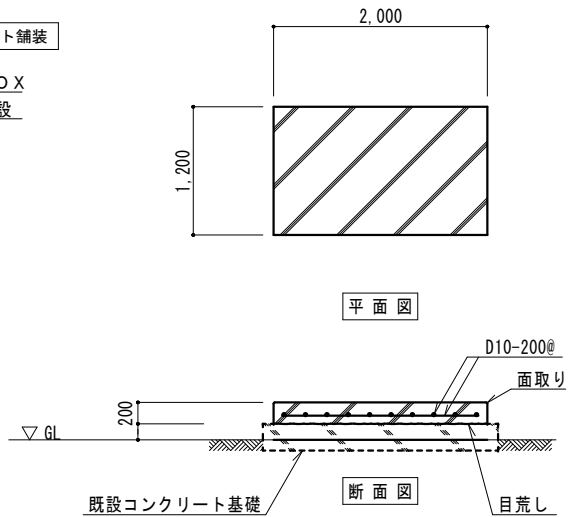
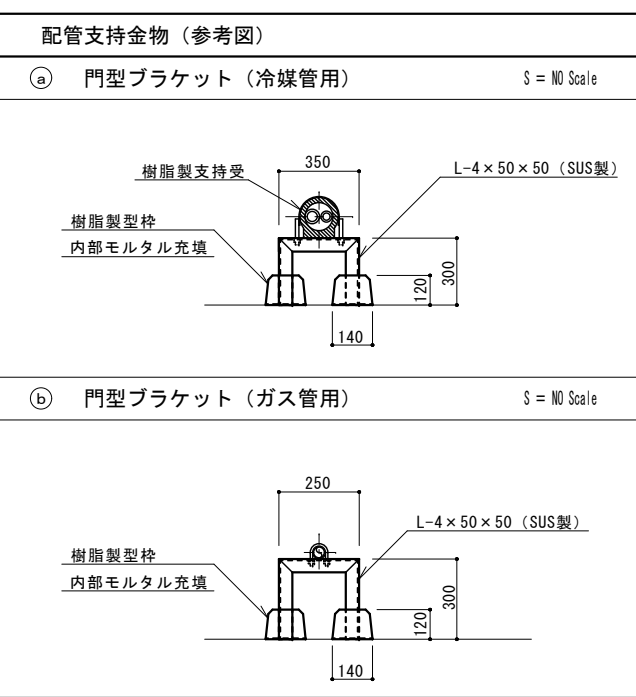


平面図 S=1:100

記号	名称	仕様	電気容量	数量	設置場所	備考
GHP-1	ガスエンジンヒートポンプ式空調和機 (屋外機)	形式: ヒートポンプ式 冷房能力: 56.0 kW 暖房能力: 63.0 kW ガス種別: LPG ガス消費量: 冷房: 49.4 kW, 暖房: 44.6 kW 付属品: 防振ゴムパット、冷媒分配器、防護ネット	電源: 3φ 200V 送風機: 0.36 kW +0.42 kW	1	屋外	参考型番: GXUAP560G
GHP-1-1	ガスエンジンヒートポンプ式空調和機 (屋内機)	形式: 天井吊形 (厨房用) 冷房能力: 8.0 kW 暖房能力: 9.0 kW 付属品: 防振吊金具、振れ止め支持金具、予備フィルター (100%)	電源: 1φ 200V 送風機: 0.06 kW	2	調理室 (1台) 下処理室 (1台)	参考型番: FGXTP80NB
GHP-1-2	ガスエンジンヒートポンプ式空調和機 (屋内機)	形式: 天井吊形 (厨房用) 冷房能力: 14.0 kW 暖房能力: 16.0 kW 付属品: 防振吊金具、振れ止め支持金具、予備フィルター (100%)	電源: 1φ 200V 送風機: 0.13 kW	3	調理室 (2台) 洗浄コーナー (1台)	参考型番: FGXTP140NB
	リモコン	メーカー標準品		3	調理室 洗浄コーナー 下処理室	

記号	液管	ガス管
(A)	φ 9.5	φ 15.9
(B)	φ 9.5	φ 19.1
(C)	φ 9.5	φ 22.2
(D)	φ 12.7	φ 28.6
(E)	φ 15.9	φ 28.6

ガスコック	20A	1
強化ガスホース	20A	1



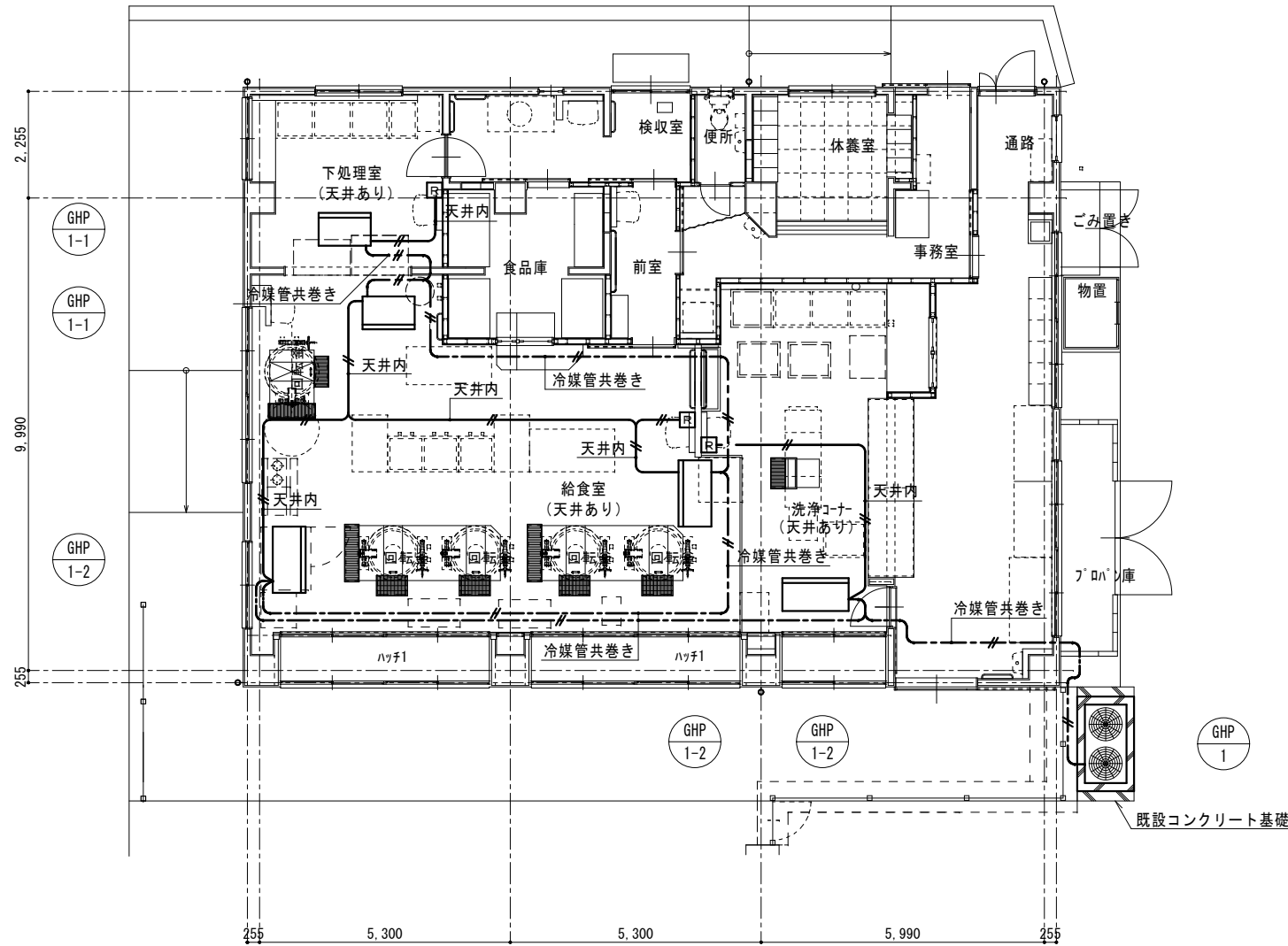
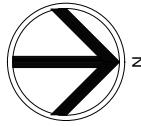
屋外機用基礎図 S=1:50

強度	24 N/m ³
スランプ	15 cm
骨材	20 mm

2025年 1月	課長	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会					
施設課					

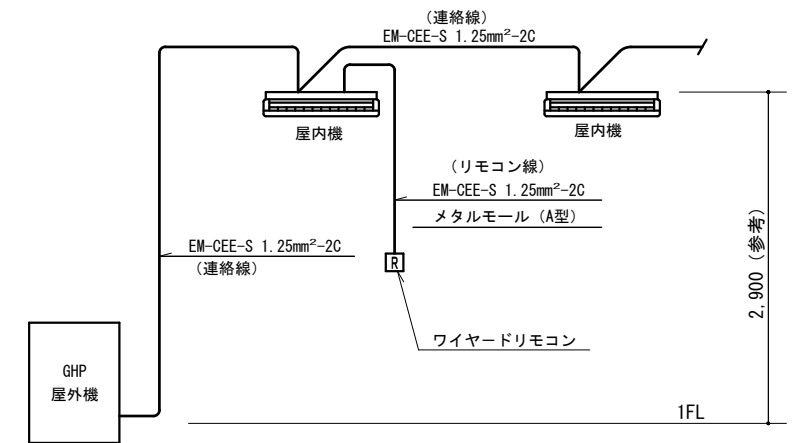
工事名称	福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	日付	2025年 1月
図面名称	給食調理場配管平面図 (湯田小学校)	縮尺	1:100

I. 設備企画	図面番号
〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	M/7



平面図 S=1:100

凡 例		
記号	摘要	備考
---//---	屋内機～屋外機間連絡線	EM-CEE-S 1.25mm ² -2C
---//---	リモコン線	EM-CEE-S 1.25mm ² -2C (E19)
[R]	ワイヤードリモコン	



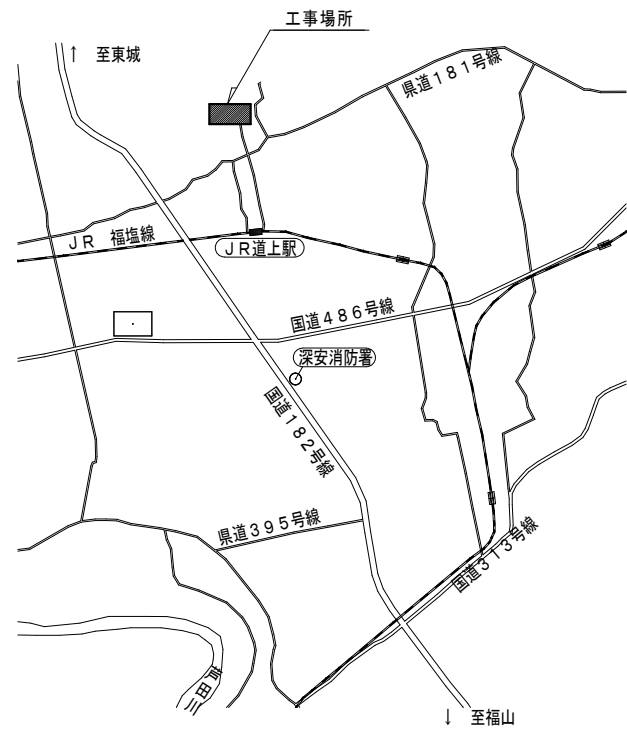
GHP 屋外機～室内機間連絡配線参考図

2025年 1月	課 員	次 長	課長補佐	課 長	部 長
福山市教育委員会					
施設課					

工事名称 福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	日付 2025年 1月
図面名称 給食調理場制御平面図 (湯田小学校)	縮尺 1:100

I. 設備企画
〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目22番41号 TEL (084) 981-4877

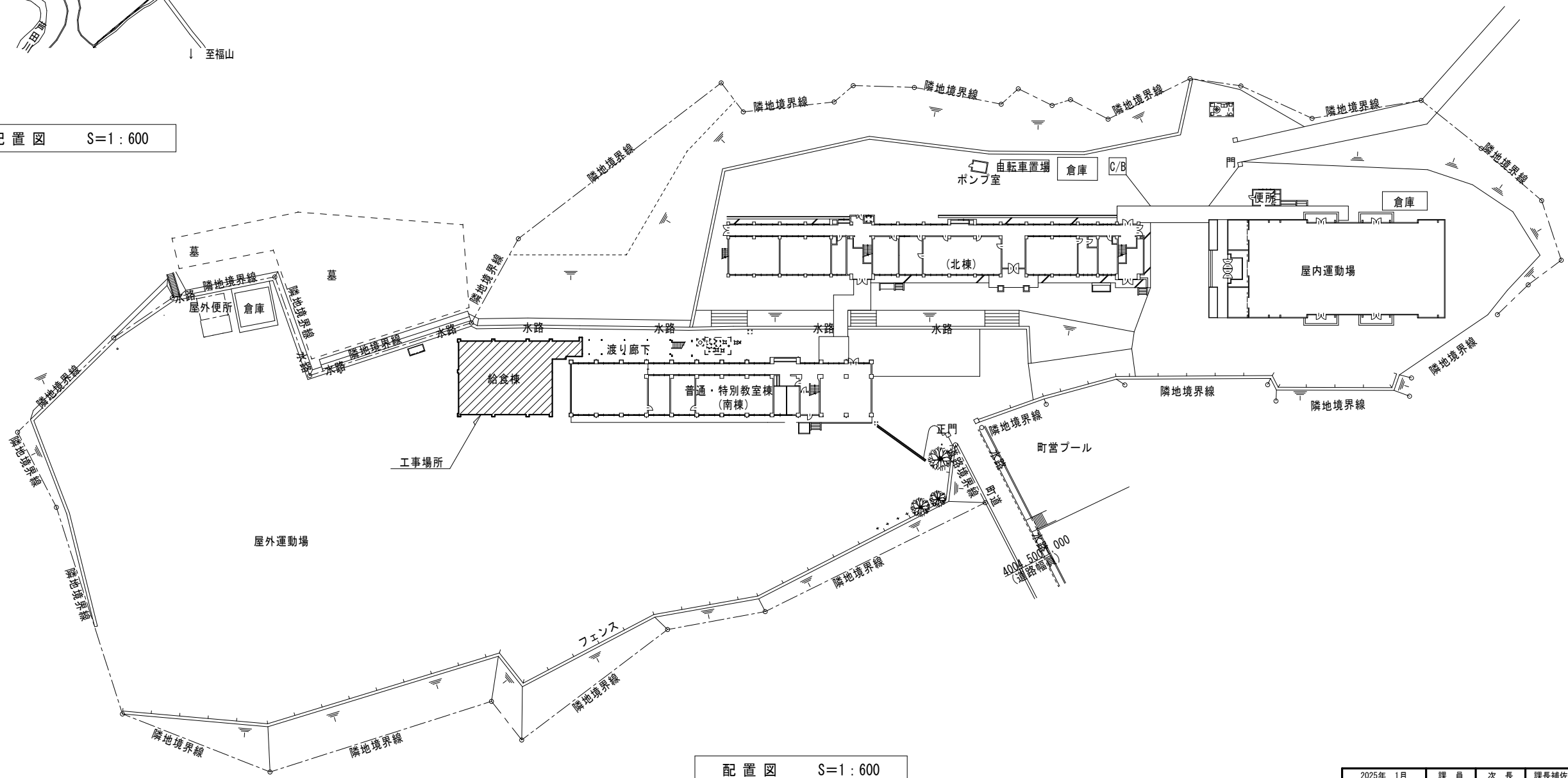
図面番号 M / 8



配置図 S=1:600

凡例		
記号	名称	摘要
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管 (製造者標準品)
—D—	ドレン管	一般配管：硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 露出配管：カラーVP
—G—	ガス管	配管用炭素鋼銅管 (白)
---(**)---	既設管	

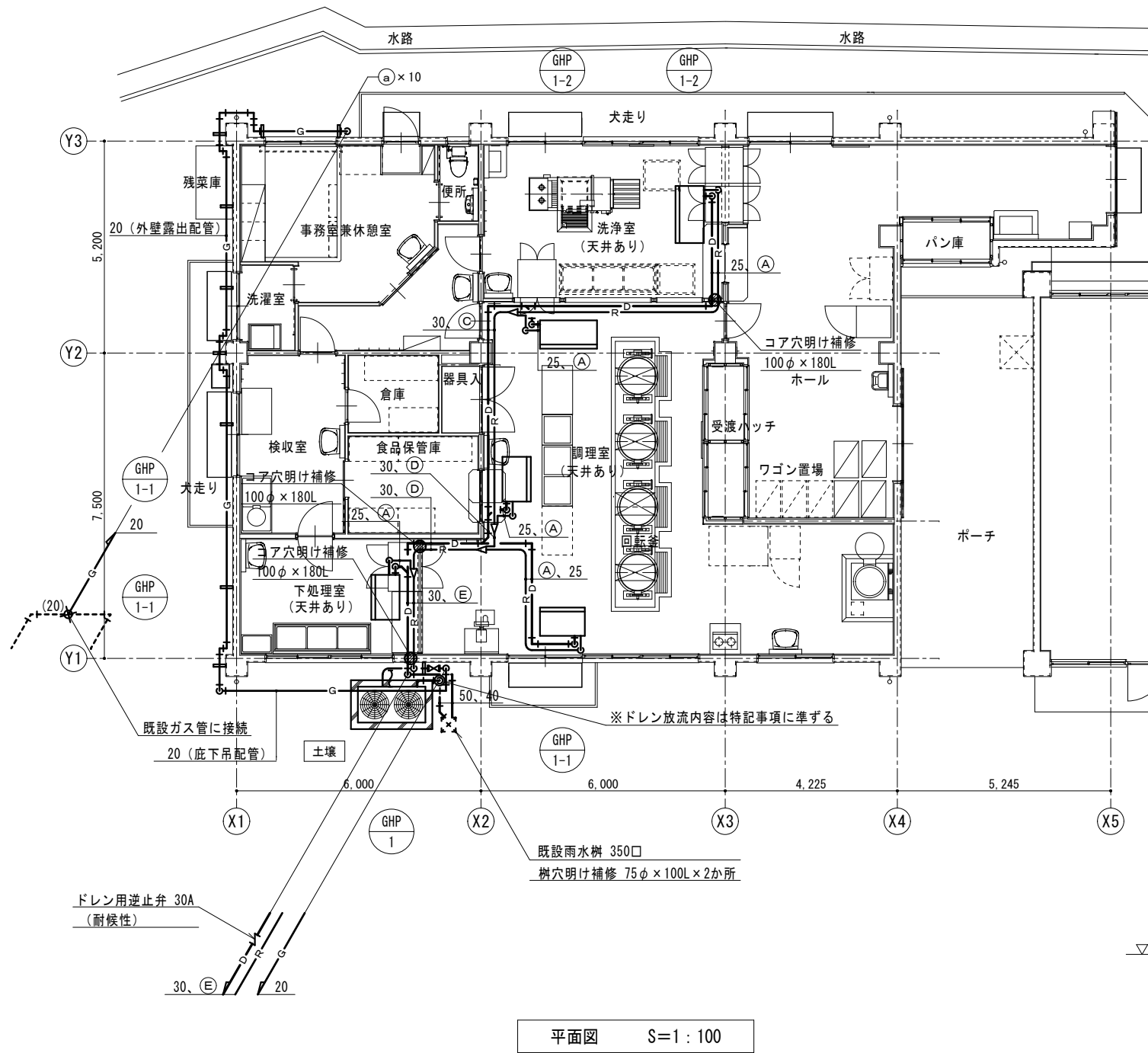
- 【特記事項】
- 冷媒管保温材厚さは、液管：10 mm、ガス管：20 mmとする。
 - 屋内外機間の連絡線は本工事とする。
 - 一次電源、アース及び接地工事は別途工事とする。
 - リモコンの配管配線工事は本工事とする。
 - 屋外、屋内の露出配管はSUSラッキングとする。
 - 屋内機のドレン管はドレン用逆止弁（耐候性）取付後、壁樋に間接接続とする
但し、壁樋の無い箇所は 雨水樋に接続とする。
 - 屋外機のドレン管は雨水樋に接続とする。（接続方法は、メーカー施工要領による。）
凝縮水ドレン、排気ドレンの分流、通気の確保等



配置図 S=1:600

2025年 1月	課員	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会					
施設課					

	工事名称	日付	I. 設備企画	図面番号
	福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	2025年 1月		
	図面名称	縮尺	〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	M / 9
	付近見取図、配置図 (道上小学校)	1:600		

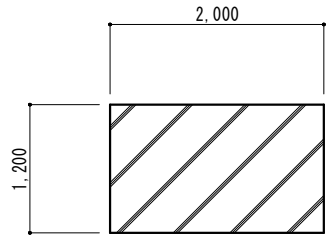
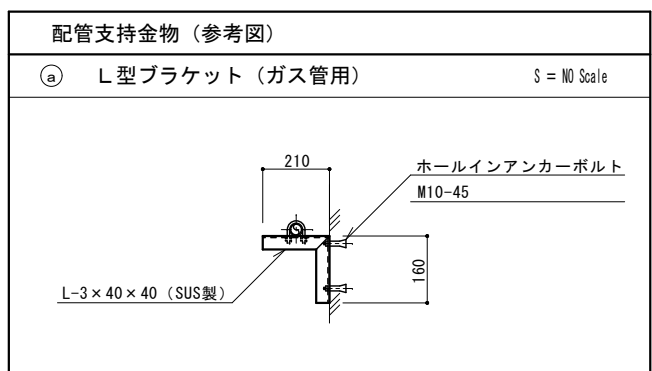


平面図 S=1:100

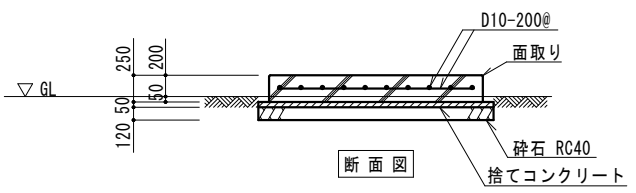
記号	名称	仕様	電気容量	数量	設置場所	備考
GHP-1	ガスエンジンヒート ポンプ式空調機 (屋外機)	形式 ヒートポンプ式 冷房能力 56.0 kW 暖房能力 63.0 kW ガス種別 LPG ガス消費量 冷房: 49.4 kW 暖房: 44.6 kW 付属品 防振ゴムパット、冷媒分配器 防護ネット	電源 3φ 200V 送風機 0.36 kW +0.42 kW	1	屋外	参考型番 GXUAP560G
GHP-1-1	ガスエンジンヒート ポンプ式空調機 (屋内機)	形式 天井吊形 (厨房用) 冷房能力 8.0 kW 暖房能力 9.0 kW 付属品 防振吊金具 振れ止め支持金具 予備フィルター (100%)	電源 1φ 200V 送風機 0.06 kW	3	調理室 (2台) 下処理室 (1台)	参考型番 FGXTP80NB
GHP-1-2	ガスエンジンヒート ポンプ式空調機 (屋内機)	形式 天井吊形 (厨房用) 冷房能力 14.0 kW 暖房能力 16.0 kW 付属品 防振吊金具 振れ止め支持金具 予備フィルター (100%)	電源 1φ 200V 送風機 0.13 kW	2	調理室 (1台) 洗浄室 (1台)	参考型番 FGXTP140NB
	リモコン	メーカー標準品		3	調理室 洗浄コーナー 下処理室	

記号	液管	ガス管
(A)	φ9.5	φ15.9
(B)	φ9.5	φ19.1
(C)	φ9.5	φ22.2
(D)	φ12.7	φ28.6
(E)	φ15.9	φ28.6

ガスコック	20A	1
強化ガスホース	20A	1



平面図



断面図

屋外機用基礎図 S=1:50

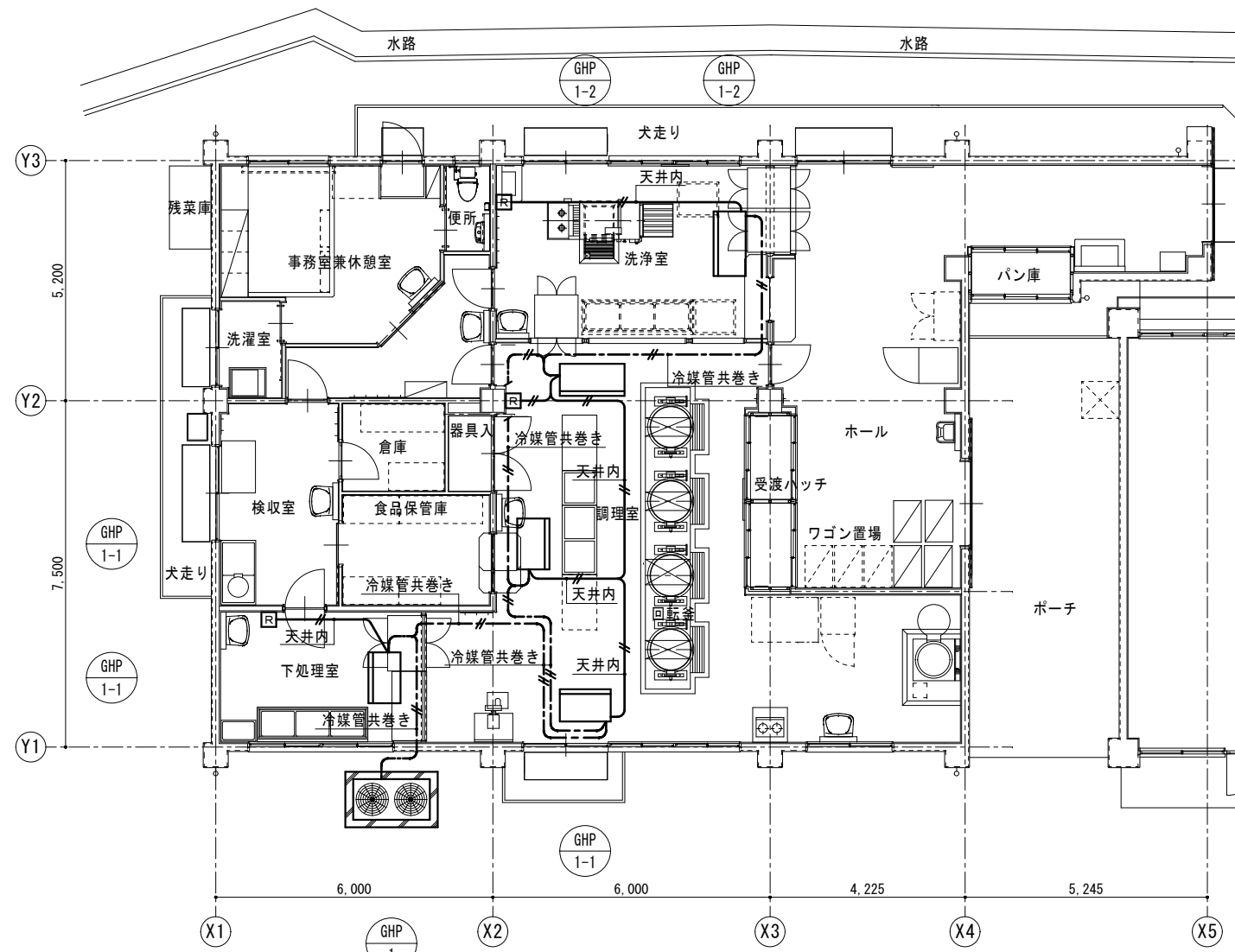
強度	24 N/m ³
スランプ	15 cm
骨材	20 mm

2025年 1月	課長	次長	課長補佐	課長	部長
福山市教育委員会 施設課					

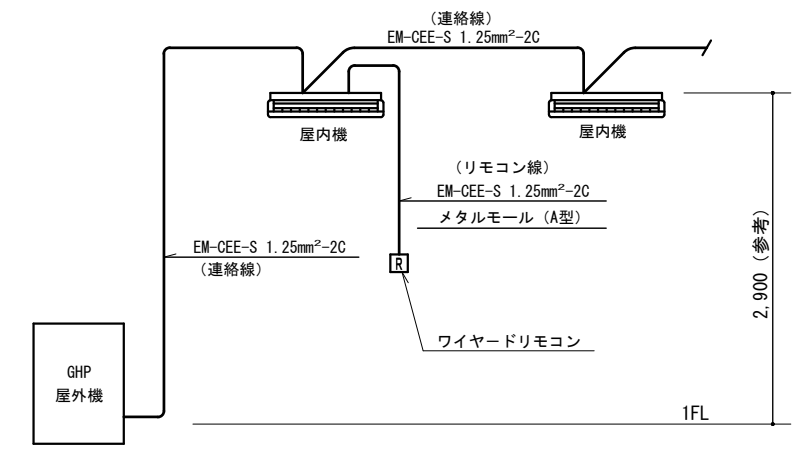
工事名称	福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	日付	2025年 1月
図面名称	給食調理場配管平面図 (道上小学校)	縮尺	1:100

I. 設備企画	図面番号
〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	M/10

凡 例		
記 号	摘 要	備 考
---//---	屋内機~屋外機間連絡線	EM-CEE-S 1.25mm ² -2C
---//---	リモコン線	EM-CEE-S 1.25mm ² -2C (E19)
Ⓡ	ワイヤードリモコン	



平面図 S=1:100



GHP屋外機~室内機間連絡配線参考図

2025年 1月	課 員	次 長	課長補佐	課 長	部 長
福山市教育委員会					
施設課					

工事名称	福山市立神辺小学校他2校給食調理場冷暖房設備設置工事	日付	2025年 1月	I. 設備企画	図面番号 M / 11
図面名称	給食調理場制御平面図 (道上小学校)	縮尺	1:100		
				〒721-0952 広島県福山市曙町五丁目2番41号 TEL (084) 981-4877	

参考数量書

§ 工事名称 福山市立神辺小学校他 2 校給食調理場冷暖房設備設置工事

§ 工事場所 福山市神辺町大字川南 2 9 1 2 番地 1 1 外 2 か所

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 福山市立神辺小学校他 2 校給食調理場冷暖房設備設置工事

工事場所 福山市神辺町大字川南 2 9 1 2 番地 1 1 外 2 か所

(工事価格)

【工事概要】

- ・冷暖房設備工事 ~ 一式
- ・ガス設備工事 ~ 一式

- ・神辺小学校
- ・湯田小学校
- ・道上小学校

- 別途工事
- ・電気設備工事 ~ 一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

機械設備工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
冷暖房設備 (神辺小)	機器設備	1	式		
冷暖房設備 (神辺小)	配管設備	1	式		
冷暖房設備 (神辺小)	発生材処理	1	式		
冷暖房設備 (神辺小)	液化石油ガス設備	1	式		
計					
冷暖房設備 (湯田小)	機器設備	1	式		
冷暖房設備 (湯田小)	配管設備	1	式		
冷暖房設備 (湯田小)	発生材処理	1	式		
冷暖房設備 (湯田小)	液化石油ガス設備	1	式		
計					
冷暖房設備 (道上小)	機器設備	1	式		
冷暖房設備 (道上小)	配管設備	1	式		
冷暖房設備 (道上小)	液化石油ガス設備	1	式		
計					

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		冷暖房設備 (神辺小)			配管設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
冷媒管	φ9.5/φ15.9	22	m				
冷媒管	φ9.5/φ22.2	13	m				
冷媒管	φ15.9/φ28.6	18	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 25A	14	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 30A	21	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 50A	2	m				
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋外架空・暗渠 16A	1	m				
カーVP	屋内一般 30A	2	m				
カーVP	屋内一般 50A	1	m				
冷媒管 保温	標仕保温材 屋外露出,浴室 ステンレス鋼板 125A	55	m				
ドレン用逆止弁	30A	1	個				
配管支持金物	L型ブラケット 310×210H SUS L-3×40×40	2	か所				
機械はつり(パイロメント)カッターによる配管用貫通口)	200mm程度 100mm	2	か所				
樹穴明け補修	75φ×100L	1	か所				
雨水縦樋接続		1	か所				

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		冷暖房設備 (神辺小)			配管設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
養生(内部改修)	個別改修	131	m ²				
EM-CEE-Sケーブル	1.25mm2- 2C ピット・天井	98	m				
EM-CEE-Sケーブル	1.25mm2- 2C 管内	5	m				
1種金属線び(MM1)	A型(25.4mm)	5	m				
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 2個用スイッチボックス	3	個				
根切り(人力)		0.3	m ³				
埋戻し	人力 根切り土	0.2	m ³				
建設発生土処理	人力 構内敷ならし	0.1	m ³				
アスファルト舗装	A-5-15 密粒 クラッシュヤーン 500m ² 未満	2.1	m ²				
カッター入れ	アスファルト	2.2	m				
アスファルト舗装取り壊し		0.1	m ³				
計							

機械設備工事		冷暖房設備 (湯田小)		配管設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
冷媒管	φ9.5/φ15.9	28	m			
冷媒管	φ9.5/φ22.2	4	m			
冷媒管	φ12.7/φ28.6	3	m			
冷媒管	φ15.9/φ28.6	11	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 25A	18	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 30A	21	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 50A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋外架空・暗渠 16A	1	m			
カーVP	屋内一般 30A	1	m			
カーVP	屋内一般 50A	1	m			
冷媒管 保温	標仕保温材 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 125A	46	m			
トイレ用逆止弁	30A	1	個			
配管支持金物	門型ブラケット 350×300H SUS L-4×50×50 樹脂製型枠共	2	か所			
機械はつり(ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 100mm	3	か所			
既設埋設雨水管接続		1	か所			

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		冷暖房設備 (湯田小)		配管設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(内部改修)	個別改修	126	m ²			
EM-CEE-Sケフル	1.25mm2- 2C ビット・天井	85	m			
EM-CEE-Sケフル	1.25mm2- 2C 管内	5	m			
1種金属線び(MM1)	A型(25.4mm)	5	m			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 2個用スイッチボックス	3	個			
根切り(人力)		0.3	m ³			
埋戻し	人力 根切り土	0.2	m ³			
建設発生土処理	人力 構内敷ならし	0.1	m ³			
アスファルト舗装	A-5-15 密粒 クラッシュヤーン 500m ² 未満	1	m ²			
カッター入れ	アスファルト	4	m			
アスファルト舗装取り壊し		0.1	m ³			
計						

機械設備工事		冷暖房設備 (道上小)		配管設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
冷媒管	φ 9.5 / φ 15.9	18	m			
冷媒管	φ 9.5 / φ 22.2	6	m			
冷媒管	φ 12.7 / φ 28.6	3	m			
冷媒管	φ 15.9 / φ 28.6	6	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 25A	15	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 30A	12	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 40A	2	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 50A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋外架空・暗渠 16A	1	m			
ガレ-VP	屋内一般 30A	3	m			
冷媒管 保温	標仕保温材 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 125A	33	m			
ドレン用逆止弁	30A	1	個			
機械はつり (パイロメント・カッターによる配管用貫通口)	200mm程度 100mm	3	か所			
樹穴明け補修	75φ × 100L	2	か所			
養生 (内部改修)	個別改修	108	m ²			

直接工事費 細目別内訳

機械設備工事		冷暖房設備 (道上小)		配管設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
EM-CEE-Sケーブル	1.25mm2- 2C ビット・天井	60	m			
EM-CEE-Sケーブル	1.25mm2- 2C 管内	5	m			
1種金属線び (MM1)	A型 (25.4mm)	5	m			
1種金属線び (MM1) 附属品	A型 (25.4mm) 2個用スイッチボックス	3	個			
根切り (人力)		0.4	m ³			
埋戻し	人力 根切り土	0.4	m ³			
計						

